

# 序 論

## 1. 計画策定の趣旨

本市は、高度経済成長を遂げつつあった昭和45年(1970年)に、まちづくりの基本方針を明らかにするために第一次総合基本計画を策定し、昭和51年(1976年)と昭和61年(1986年)に、二次にわたる改定を行いました。さらに、急速に進む高齢化や国際化、情報化、また、ゆとりある生活志向などの時代の変化に対応し、健康で文化的な生活を築き上げることができるよう、平成6年(1994年)10月に、目標年次を平成17年(2005年)までとする「守口市21世紀計画(守口市総合基本計画)」を策定し、「文化香る定住のまち」をめざして、さまざまな施策を展開してきました。この間、合併協議の経緯、財政危機への対策などから、計画期間を平成22年(2010年)まで延長しました。

本市は、早くから大手家電メーカーの企業城下町として発展を遂げるとともに安定した税収を背景として昭和30年代からの人口急増に対応し、各種の行政サービスを充実させ、公共施設や都市基盤の整備を進めてきた結果、現在では日常生活を支える基本的な施設整備は一定の到達点に達し、成熟した都市としての機能を備えるに至っています。

一方、近年のわが国の社会経済状況に目を転じると、少子高齢化とこれに伴う人口減少が依然として進行しており、本市においても同様の傾向をたどっています。また、バブル経済の崩壊以後、いまだ本格的な回復には至っていないわが国の景気は、雇用やデフレなど不安要素も抱えており、地方財政の先行きはなお予断を許さない状況にあります。

またこの間、グローバル化<sup>\*</sup>の進展や雇用形態等に関する規制緩和の動きにより、企業間競争の熾烈化、生産拠点の海外への移転、非正規労働者の増加など、既存の産業構造や雇用環境に大きな変化がもたらされましたが、その一方で、地球環境問題への関心の高まりと相まって、新エネルギー<sup>\*</sup>や省エネルギー分野での技術開発をはじめ、付加価値の高い独自の製品開発による新たな産業展開も見られ、ものづくり企業が集積する本市の特性を生かした、まちの活力やにぎわいの創出につながることも期待できます。

さらに、国・地方を通じ、これまでの行政運営のあり方が大きく見直され地方分権の流れが加速する中で、自主的・自律的な行政運営が一層求められています。

本市は、このような社会経済状況の変化と事業活動や市民生活への影響を的確に捉え適切に対応しながら、人口減少に歯止めをかけ、市の活力を一層向上させなければなりません。

このため、本市の社会資源をより適切に維持しつつ、効果的・効率的に活用するとともに、市民活動が盛んな本市の土壌を活かした市民参加・協働のまちづくりを通じて、人的資源の潜在的な能力がより一層発揮されるよう環境を整え、今後の行政ニーズに的確に応えうる魅力あるまちづくりを進めるため、将来像や目標を設定し、これを実現するための長期的かつ基本的なまちづくりの方向性を示す新たな計画を策定するものです。



### グローバル化<sup>\*</sup>

人・資金・技術などが国家を越えて移動することにより、経済活動や社会活動などが地球規模でつながり、広がっていくこと。

### 新エネルギー<sup>\*</sup>

バイオマス、太陽熱利用、雪氷熱利用、地熱発電、風力発電、太陽光発電などの再生可能エネルギー。地球温暖化への対策の一環として積極的な利用が進められている。

## 2. 計画の構成と期間

本計画は、「基本構想」、「基本計画」で構成します。

### ① 基本構想

基本構想は、本市がめざすべき将来都市像やまちづくりの基本的な目標などを示し、これを達成するための施策の基本的な方向を明らかにしたものです。

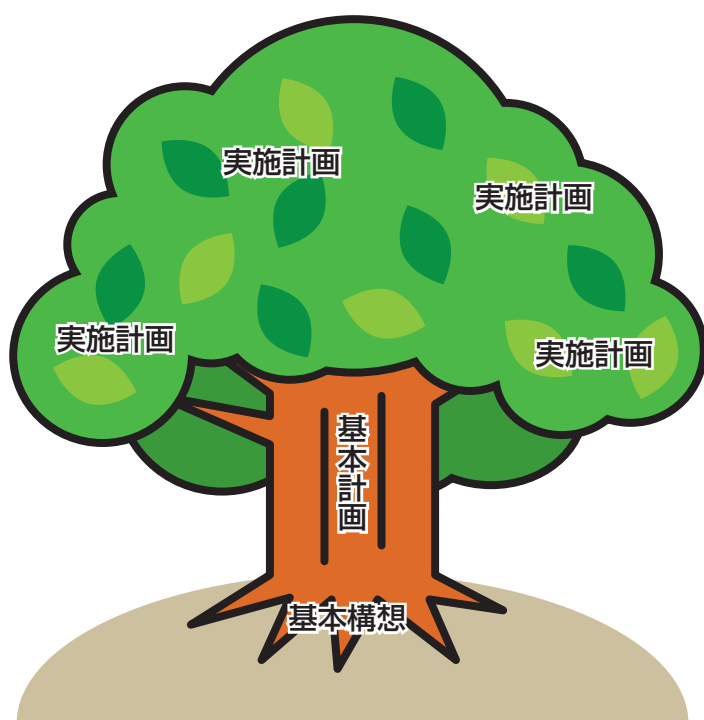
基本構想の対象期間は、平成23年度（2011年度）から平成32年度（2020年度）までの10年間とします。

### ② 基本計画

基本計画は、基本構想の実現に向けて、まちづくりの分野ごとに施策等を体系的に展開したものです。計画の対象期間は、基本構想と同じ期間とします。

なお、この計画の推進にあたっては、3カ年のローリングシステム<sup>\*</sup>による実施計画を毎年策定し、基本構想および基本計画と個々の施策との関連性を明らかにしながら、めざすまちづくりを進めていきます。

計画の全体構成図



【枝・葉】実施計画:  
基本的な施策を推進するための具体的な事業

【幹】基本計画:  
基本構想を実現するための基本的な施策

【根】基本構想:  
将来都市像、まちづくりの基本的な目標、施策の基本的な方向

ローリングシステム<sup>\*</sup>

長期計画の実施過程で、計画と実績の間に食い違いが生じていないかを毎年チェックし、違いがある場合は計画を再編成して目標の達成を図る方式のこと。